

6月定例議会の内容をわかりやすくお伝えします。

議会だより だいせん 81号

2025年7月29日発行
鳥取県大山町議会



<https://www.daisen.jp/gikai/>



みんなが気になるあの議題

大山夏山開き祭たいまつ行列

みんなが気になるあの議題

大山スキー場調査業務 5月22日臨時会 委託料1265万円

可決

中学生ハワイ語学研修 5月1日臨時会 事業費840万円

可決

事業内容

本町は、英語教育の充実を目的として、中学生を対象にハワイの進学校「Mid-Pacific Institute」への短期英語留学プログラムを令和6年度から実施しています。留学期間は夏休みの約15日間で、英語を母国語としない生徒向けの語学プログラムの受講や、ホームステイなどを通じて実践的な英語力と国際感覚を育成します。

対象は町内中学生8人程度で、教員を含む引率者2人が同行します。参加者の自己負担は15～20万円とし、残りは町が支援しています。

本事業と既存のテメキュラ交流との違い

観 点	ハワイ (Mid-Pacific)	テメキュラ交流
位 置 づ け	教育施策（語学教育）	文化・国際交流
内 容	授業参加・語学研修	親善訪問・体験
対 象	中学生	中学生
自 己 負 担	15～20万円	10万円
宿 泊	ホームステイ (語学学校と提携する家庭)	ホームステイ (交流先市民宅)

町民の声

ハワイ事業を取りやめるより基準を見直し、将来につながる効果を求めた方が町のためになるのではないか。

高岡 孝太さん
(ニューヴィータ)

本事業の 利点と課題

語学授業やホームステイを通じて多くを学べる貴重な機会として評価される一方、毎年8人の参加で、事業費が年間800万円以上かかることから「限られた生徒だけに恩恵が偏るのでは」との声があります。

また、経済的な理由で応募を断念する家庭もあるため、公平性の面でも課題があるとの指摘が議会で上がっています。

まちの話題 「まちの話題を募集します」 新しいお店やおすすすめスポットの紹介、地域のイベント情報など、皆さんからの情報提供をお待ちしております。大山町御来屋328 E-mail gikai@town.daisen.lg.jp

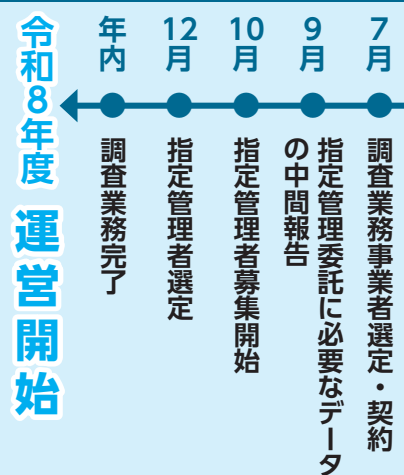
中の原スキー場 どうなった？

12月の公募に他事業者から手上げがなかったため、現在の指定管理者である「株式会社だいせんリゾート」と協議し、3月定例会にて、令和7年4月1日から令和8年3月31日の1年間の指定管理継続となりました。

今後の予定は？

令和8年度からの指定管理者はまだ決まっていません。5月臨時会にて、中の原スキー場を含めた町内スキー場の中期のあり方を整理し、市場予測や必要な施設整備、運営体制の検討などの調査を行うこととなりました。この調査をもとに具体的な方針を固め、指定管理者の募集と選定を行います。

今後のスケジュール



町民の声

地元の人でも行きやすく、家族みんなで楽しめる場所づくりやイベントを開催してほしい。趣味も多様化している中、スキーをやる人が少なくなっている。来なくなる場所や目的を作って、いかに来てもらうかが重要だと思う。

前田大貴さん
(西坪)

スキー場の将来

町内スキー場のあり方を見直さなければなりません。継続していくためには、コースの見直しやリフトなどの設備改修はもちろんです。グリーンシーズンの活用といった魅力づくりを行い、利用者の回復に向けたスキー場のあり方を検討する必要があります。

全国的にスキー・スノーボード人口の減少に加え、降雪不足・レジャーの多様化・実質賃金の低迷・少子高齢化などから、スキー場の閉鎖が相次いでいます。地域資源をどう生かして集客していくのか、スキー場経営の見直しが必要が来ます。

まちの話題 「大山町納涼花火大会」 スターマインや水上花火など、大小約2500発の花火が打ち上げられます。漁港から間近で見られる花火は圧巻です。場所:御来屋漁港、日時:7月26日(土)20時～20時45分※雨天時は翌日に順延。

議案の質疑

第三次大山町総合計画

令和8年度から8年間の総合計画基本構想案について質疑。

【Q】令和6年度実施の住民アンケート回答数が106件となっており、統計上の有効数とされる375件を下回っている。今後の対策は。

【A】回覧文書にQRコードをつけたアンケートを実施したことで、スマートフォンなどを持っている人だけに回答が限定されてしまった。文書による配布、回答ができるようにする。

【Q】アンケートが紙媒体となると集計に職

員の労力がかからないか。

【A】職員2人で集計は可能である。

【Q】今まで10年間の計画だったものが、今回8年間の計画期間となった理由は。

【A】計画策定や実施計画に町長の施政方針なども取り入れていくべきである。町長の任期が4年間であるので、4の倍数の計画とすることで、計画の策定や見直しの際に意見が反映されやすい。

【Q】前回は1から町民が参加して作成したが、今回は役場内でのワーキンググループで作成したものを住民の代表に検討してもらう形となっている。基本構想策定までの住民の参画は十分か。

【A】プロセスとしては適切である。役場に集まって意見を出す形ではなく、アンケートなど書面で書いたりすることで人数的には今回の基本構想のほう住民の参画は多かったと考える。

【Q】合計特殊出生率目標が第2次計画の1.75から、今回の1.95に増加した理由は。

【A】参考としている指標が本町の人口動態分析および将来人口推計の目標値で、令和7年度作成した人口推計であり、その目標値1.95を参考指標としている。この数値は鳥取県の参考指標でもある。

中山地区住宅用地造成事業

ナスパルタウン完売のため、中山口駅周辺に住宅用地を整備し、人口増加につなげる。

【Q】中山口駅付近に宅地造成をするということだが、事業概要とスケジュールは。

【A】中山地区は民間の造成計画がないため、行政で整備し移住定住の促進をはかるもので、20区画を想定している。

令和7年度は測量設計委託、農地転用、農振除外の協議を進める。令和9年度工事着手予定としており、完成後できるだけ早い時期に分譲開始を考えている。



町営にて中山口駅付近に新規造成

一般会計補正予算

町長選挙が行われたため、6月定例会では政策的予算が含まれた総額約16億6000万円の補正予算案となる。大山町アウトドアライフ官民連携事業2億7754万円、合併20周年事業607万円などが組まれている。

財政調整基金繰入金

財源の不足や災害時など緊急時に使う基金の取り崩しを行い、一般会計繰入金について質疑。

【Q】財政調整基金からの繰入金が、2億円計上されているが、令和7年度末の残高の見通しは。

【A】令和7年度末には10億4000万円程度になる見込み。

【Q】財政調整基金は10億円を割らないように財政運営をしていくと言われているが、令和8年度の予算編成が窮屈になるのではないか。

【A】今後サマリーレビューを行い、事業の見直しなどで持続的な財政運営ができるようにしていきたい。

特定家畜伝染病対策

豚熱感染個体の破棄費用を支援し、野生イノシシのジビエ利用を促進する。

【Q】今後陽性個体が出たとき、事業者が破棄費用の2分の1を負担すると運営がむずかしくなるのでは。

【A】事業者側が負担に耐えられないということイノシシの受入れを止めることにならないように、状況を把握していく。農産物被害の低減のため、捕獲の圧力を維持してもらうよう、今後も調整が必要と考える。

【Q】補助対象の内容は。

【A】処分費、輸送費、容器費などである。補助対象は県に届出をし、許可をえた処理施設のみとなる。



すべての個体で血液検査

ドリームカーフェスタ負担金

現代版牛馬市の聖地として、日本遺産の魅力発信につながる事業実施にかかる費用を負担する。

【Q】負担金の内訳は。

【A】会場準備設営費、広報事業費、実行委員会の運営費など、財源は企業版ふるさと納税を活用する。

【Q】企業版ふるさと納税など町が動く理由は。実行委員会で事業実施を自走しては。

【A】現在実行委員会の事務などは町が行っている。すべて自走できる体制には至っていない。日本遺産のPRは町としても進めたい。

【Q】企業版ふるさと納税がなかったときには財源はどうなるのか。

【A】実行委員会に対して直接寄付という形があればいいが、企業版ふるさと納税をすると企業にとってメリットがあるので、実行委員会が企業に働きかけ、賛同をえて予算計上した経緯がある。企業版ふるさと納税額が予算に満たない場合にはその金額しか支出をしない。

白熱討論

令和7年度 一般会計補正予算

改選後、町長の提案する実質的な新年度予算に4人の議員が討論に登壇し、その後の採決では賛成多数で可決となった。

反対 豊議員「中長期計画が見えてこない」

本補正予算は中長期の計画が練られておらず、それが2つの事業に顕著に現れている。

1つはアウトドアライフ官民連携事業（以下、アウトドア事業）で、設置管理条例を制定する際にも多くの指摘があったが、それらが解決されていない。事業者選定にあたっては公平性に欠けていたし、事業の目的も不明確だ。施設内トイレの数からは公共性の低さが分かる。また、事業費約2億7000万円を回収するために月額35万円の家賃で50年かかるということからも、キャッシュフローという概念を持ち合わせていないと感じる。

もう1つは大山ドリームカーフェスタで、町として実施すべき事業とは思えない。財源である企業版ふるさと納税を行う事業者は、本町が事業を委託する法人の関連会社で、個人的に問題だと感じ指摘もしているが、令和7年度も同じ手法で取り組もうとしている。



反対 西本議員「全体的に見直しが必要だ」

修正案を提出することも考えたが、全体的に見直しをかけるべきだと思う。

アウトドア事業に関しては豊議員と同じ思いだが、定例会最終日の朝になってエレベータを設置しないという話を聞かされた。割れるような案件は事前に説明するよう繰り返し求めているが、こういった姿勢には不信感を覚える。

また、自転車の安全運転を目的として動画を作成するようだが、過去の自転車関連の事業を着地させてから取り組むべきだ。

別の視点としては、令和6年3月議会で決議案を出した男女共同参画に関して、1年経過しても何ら予算化されていない点も反対理由だ。

各事業に対し効果を検証し削るべきは削る、これができていないから財政調整基金を大きく取り崩すことになっている。



まの話題 「ええがな大山」 「風たちの学校」8月9日10時/14時の2回なかやま温泉で上映。泣いたって傷ついたって大丈夫この学校なら受け入れてくれる。不登校を経験した監督が学んだ学校を、四季の移り変わりを通じて自らカメラに収めていく。

賛成 加藤議員「大いに期待されている」

今春の選挙で町民の大きな期待を背負って町長は当選され、改選後初の定例会で政策的経費を提案されている。

反対理由として問題点だと挙げられた点は、懸念点であり問題点とは異なると感じる。問題点というのは、法的に問題がある場合などを指すのだと考える。アウトドア事業やドリームカーフェスタに対し懸念している点は理解するが、観光事業者にとっては大いに期待をされているものだと感じている。懸念点と問題点とを混同して反対すべきではない。

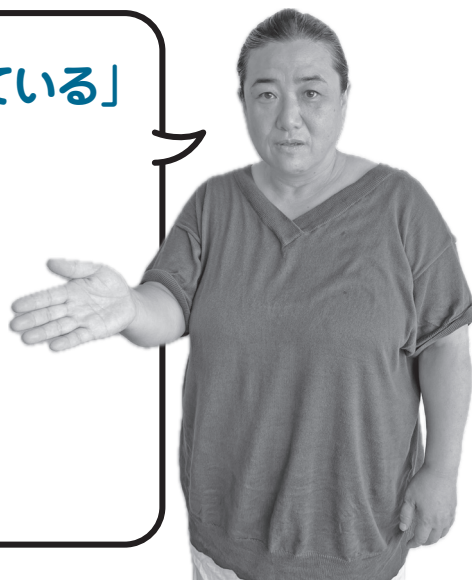
国としては、地方が基金を抱えすぎていると考えており、優先的に基金を使わせるような動きをしている。本町に類似する県内の自治体の令和6年度当初予算では、基金取り崩し額は8億円前後であり本町とほぼ同額であり、基金残高も多いほうだ。問題視すべきではない。



反対 池田議員「丁寧な説明が不足している」

アウトドア事業は予算額も大きく、賛否が割れるような事業であるにもかかわらず、非常に短い時間での説明しかされなかった。割れるような案件は丁寧に説明し、納得のうえ進めていくべきだ。

野生ジビエ利用支援事業は県の補助分だけが予算化されており、足りない部分は大山ジビエ工房の負担となっている。イノシシ駆除や農作物を守るという目的で作られた施設だが、これでは本来の目的が達成できない。



議員名	浅田	小林	近藤	京力	西本	豊	島田	加藤	池田	大原	米本	大森	杉谷	近藤	野口
賛否	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○

議会だより
だいせん
の感想を
お寄せ
ください

Webアンケート

右記のQRコードを読み取っていただくと、アンケート入力フォームにアクセスできます。(所要時間3分程度)



Faxやメールでも受け付けています。

良かった(分かりやすかった)記事、悪かった(分かりにくかった)記事など、議会だよりの感想をお聞かせ下さい。

議会や町政へのご意見・ご要望などお気軽にお寄せ下さい。

Fax 0859-54-5214

✉ gikai@town.daisen.lg.jp

まの話題 「牛骨ラーメンスタンド悟空大山参道店」 米子市淀江町で人気のラーメン店が大山寺エリア参道にもオープンしました。牛骨から抽出した濃厚スープとチャーシューが絶品です。土日祝の営業となります。

幼児・学校教育課 学校給食について

物価高騰!! 給食の質は大丈夫?

令和6年度予算 6984万円 → 令和7年度予算 7120万円

※人数には変動があります。

1食当たりの給食単価を令和6年度に比べ12円値上げとした。これまでの給食の質と同水準を確保するため、給食単価が見直された。

小学校 — 310円(旧単価298円)

中学校 — 360円(旧単価348円)

事業者の変更は?

きょうばく保育園のみ令和7年度から変更となったが、給食の安心安全な質の確保は維持している。



総務課 合併20周年事業

準備期間と周知に課題!?

事業費 607万円
(合併振興基金繰入金)

合併20周年事業実施の経緯

当初は25周年と50周年に実施することが内部決定していたが、5月に入り町長より20周年実施の提案があった。6月議会定例会にて補正予算を計上し、採択となる。11月8日に保健福祉センターなわにて開催予定である。

実施に際しての課題

合併20周年事業は当初予定されておらず、5月に急ぎょ実施が決定した。準備期間の短さから、10周年よりも大幅に規模を縮小しての開催となる予定である。記念性や町民への周知に課題がある。



財務課 大山町公共施設再構築プラン

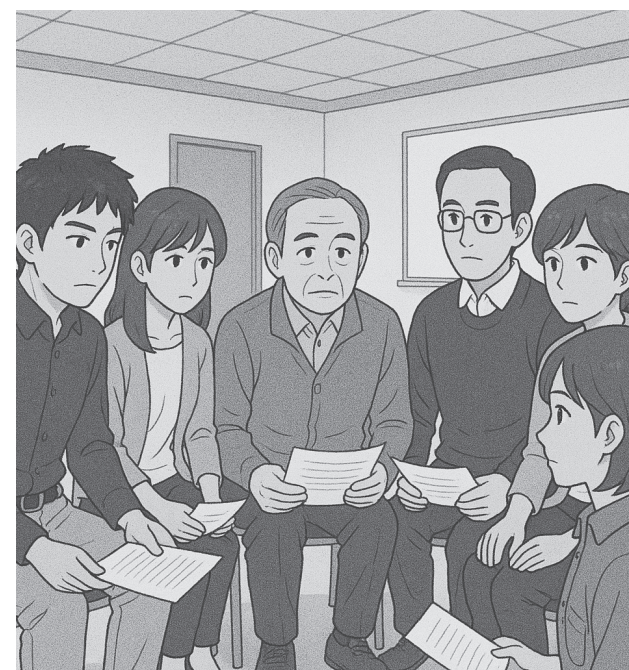
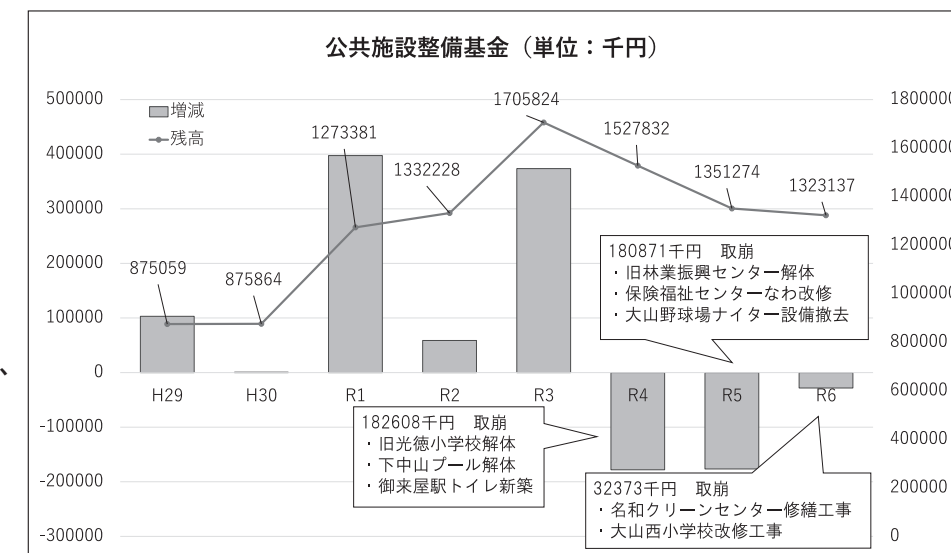
老朽化・人口減少・財政難にどう備える

どんな事業か?

本町が保有する多数の公共施設について、今後の老朽化対策・統廃合・再配置などを計画的に進めるための具体的な実施計画である。

今後の施設維持は?

- ・公民館の老朽化と更新課題
現在も使用中の施設を対象に、老朽化状況や利用実態をふまえて見直しが必要である。
- ・施設再編の中での位置づけ
社会教育施設や公民館など、機能の集約や統廃合も検討事項である。



トピックス 【図書巡回車】 町内を「動く図書館」が第2水曜・第2木曜・第3水曜で巡回しています。貸し出しは、ひとり10冊まで。返却は次の巡回までとなっており、各図書館への返却も可能です。問い合わせ先: 図書館本館0858-49-3010

まちの話題 【体力テスト】 毎年実施されており、6つの測定種目を実施し体力を測定します。また体力や年齢が何歳くらいかも判定します。開催日: 10月4日19時30分～ 問い合わせ先: 大山町社会教育課0859-54-5212

みなさんからいただいた陳情結果

件名	委員会の意見	審査結果
大山町の環境保全に関する陳情書	陳情の趣旨は理解できる。しかし、施肥基準の作成については、県の基準があり、県はその順守をもとめている。 堆肥センターの設置については、町は耕畜連携を進めるためにすでに設置している。陳情骨子の願意がすでにおこなわれている。 採決の結果、全会一致で不採択と決した。	不採択
 賛成 池田議員 将来のために豊かな自然を財産として残そうという目的で出されている。陳情の趣旨が理解できるのであれば採択すべき。住民代表の議員が拒否をしてしまうと住民は誰を頼ればいいのか。		
地方財政の充実・強化を求める陳情	採択の意見として、町や町民財政の安定を要望としている、地方交付税を増やす取り組みに賛同という意見があった。 不採択の意見として、国税から地方税への税源移譲に関して、地域間格差が広がる可能性があるため賛同しかねるという意見があった。 採決の結果、採択6人、不採択1人にて採択と決した。	採択
裏金問題の徹底解明とパーティー券購入を含む企業・団体献金の禁止を求める陳情	不採択の意見として、裏金による政治不信は問題であるが、献金の全面禁止は最終手段であり、現時点では賛同しかねる。裏金に関与した政党および不採択政治家が自重すべきことであり、議会採択の案件ではないという意見があった。 採決の結果、全会一致で不採択と決した。	不採択
 賛成 大森議員 議会採択の案件ではないと傍観者のように片づける問題ではない。政治資金規正法の規制が強化され、それに代わって政治資金パーティー券が利用されるようになったが、これが企業献金の抜け道になっていることは変わらない。		

トピックス 「一木一石運動」 大山山頂は日本海からの季節風の影響で年間降水量が3000ミリ超で積雪は約6カ月続く。このため山が崩壊し、谷には多数の砂防堰堤が築かれている。保全と啓発のため、麓の樹木や石を山頂へ運ぶ活動も行われている。

一目でわかる審議結果

5月臨時会
6月定例会

○賛否の分かれた議案など ○は賛成、×は反対あるいは保留

議案など	議員名	浅田龍太郎	小林直哉	近藤隆博	京力久子	西本憲人	豊哲也	島田一恵	加藤紀之	池田幸恵	大原広巳	米本隆記	大森正治	杉谷洋一	近藤大介	野口俊明	結果
議 案																	
議案第52号 令和7年度大山町一般会計補正予算(第1号) 主なものとして、アメリカハワイ州において実施する短期英語留学事業を夏休みにするため必要な費用など。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	可 決 (賛成14人)
議案第57号 令和7年度大山町索道事業特別会計補正予算(第1号) 本町内のスキー場について、①中長期の在り方を整理するための調査委託料 ②中の原スキー場管理に必要な圧雪車および芝刈り機の購入費など。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決 (全会一致)
議案第68号 令和7年度大山町一般会計補正予算(第2号) 主なものとして、①日本遺産魅力発信事業ドリームカーフェスタ負担金 ②大山町合併20周年事業費 ③大山町アウトドアライフ官民連携事業設計工事費など。		○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可 決 (賛成12人)
陳 情 ・ 請 願																	
陳情第2号 大山町の環境保全に関する陳情書 大山町の環境保全に関する陳情書		×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	不採択 (賛成2名)
陳情第3号 地方財政の充実・強化を求める陳情 鳥取市南町 自治労鳥取県本部 執行委員長 三浦敏樹 大山町御来屋 大山町労働組合 執行委員長 柏尾正樹		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	採 択 (賛成14人)
陳情第4号 裏金問題の徹底解明とパーティー券購入を含む企業・団体献金の禁止を求める陳情 鳥取市富谷 平和・民主主義・豊かな暮らしをめざす鳥取県の会 代表世話人 村上俊夫		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	不採択 (賛成1名)
発議案第4号 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	採 択 (賛成14人)

※議案などの採決は、議長を除く15人で行います。
5月1日第3回臨時会 …… 条例改正2件、補正予算4件、工事請負契約の締結2件、監査委員の選任1件
5月22日第4回臨時会 …… 総合整備計画の策定1件、補正予算1件
6月定例会… 条例改正3件、総合計画基本構想1件、持続的発展計画の変更1件、総合整備計画の策定1件、総合整備計画の変更1件、財産の取得2件、契約の締結2件、補正予算10件、人権擁護委員の推薦1件、陳情3件、発議1件



トピックス 「山と書いてせん」 「せん」は呉音読みで仏教用語に多く仏教・山岳信仰と関連があると考えられる。大山をはじめ氷ノ山、弥山、蒜山など全国に70ほど存在し、そのほとんどが、鳥取県、岡山県、島根県である。

15人が町長・教育長に
一般質問を行いました。

一般質問

◆一般質問とは
議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



お持ちのスマホやタブレットから、QRコードを読み込むと、各議員の質問をYouTube動画でご視聴いただけます。
議事録は議会事務局や議会ホームページで閲覧できます。

ページ	質問事項	質問議員
13	1. いつまでも住み続けたい夢ある町を	杉谷 洋一
14	1. 特定健診に耳鼻科、眼科検診の追加を 2. 災害時のトイレ対策としてのマンホールトイレ設置について	京力 久子
15	1. 物価高騰対策は 2. 農業政策は	米本 隆記
16	1. 物価高騰対策は 2. 農業政策は	池田 幸恵
17	1. 防災情報の文字化による情報格差の解消 2. 移住定住促進に向けた「お試し住宅制度」の導入と空き家活用について	島田 一恵
18	1. 本町の産業構造と文化支援に関する方針について 2. 賢く縮小して未来を創る運営を 3. 通いの場事業は誰のための事業か	近藤 隆博
19	1. 戦後 80 周年、「平和」の取り組みを 2. 投票率向上の取り組みは 3. 文化財の保護と活用は大丈夫か	西本 憲人
20	1. ラーケーションの取り組みを 2. 持続可能な第一次産業（漁業）とは	大森 正治
21	1. 本町の俯瞰的な都市計画は 2. オrganicビレッジ宣言・オーガニック給食について	加藤 紀之
22	1. 高齢者が元気な大山町へ 2. 町民の声は聞こえたか	近藤 大介
23	1. 農業の気候変動対策について 2. 町民向け情報発信について	豊 哲也
24	1. 住環境の整備について 2. 町民向け情報発信について	浅田龍太郎
25	1. 住環境の整備について 2. 町民向け情報発信について	野口 俊明
26	1. 住環境の整備について 2. 町民向け情報発信について	大原 広巳
27	1. 住環境の整備について 2. 町民向け情報発信について	小林 直哉

特定健診に耳鼻科 眼科検診の追加を

町長
必要性は
十分認識している



【京力】特定健診に耳鼻科・眼科検診の追加を。
【町長】本町の特定健診では、生活習慣病の早期発見・予防を目的としているため行っていない。
【京力】眼科検診の節目検診の導入は。
【町長】すぐに導入ということにはならないが、必要性は十分認識している。

このほか、災害時のトイレ対策として、マンホールトイレの設置について質問しました。簡易トイレ、仮設トイレに加えて第3のトイレ対策として検討したいとの答弁をえました。

【京力】町内に、耳鼻科、眼科の専門医が不在で、中山地区の佐々木医院は、週2〜3回午前中のみしか空いておらず、仕事終わりに子どもを連れていけない。
【町長】現在、診療所の



診療所をかかりつけ医に

いつまでも住み 続けたい夢ある町は

町長
「住民の声」を
協議し政策に反映を



【杉谷】「住民の声」を町政に反映させているか。
【町長】自治会要望や町長への手紙など住民の声を協議しながら政策に反映している。
【杉谷】職員研修や職員の声を町政へ反映は。
【町長】各政策に反映させている。
【杉谷】後期高齢者の人間ドックは、各種の検診にもれている項目の詳細検査をすることができ、安心して元氣な暮らしや健康寿命の延伸につながる。他市町村では、助成が見受けられるが本町は。
【町長】かかりつけの医療機関で健康状況の把握はできる。医師や保健師の知見もふまえ、現在の特別健康診査やがん検診などで十分と考えている。
【杉谷】農業後継者不足など集落衰退対策は。
【町長】補助事業などで維持に努めている。
【杉谷】仁王堂公園の駐車場や古墳などの整備は。
【町長】町内外の来園者が多く緊急課題と認識し取り組んでいく。
【杉谷】淀江インターチェンジの跡地整備は。
【町長】国や県に整備に向け働きかける。



淀江インターの跡地

物価高騰対策は

町長
臨時交付金が
支給されれば考える



【米本】給与は2年続けて大幅なアップとなったが、西部地域でも産業間ではかなりの開きがあるようだ。
【町長】中小の商店・企業が多くなかなか賃上げに踏み切れないのが現状ではないか。賃金格差は増大していき、物価高騰に追いつけない要因になっている。生活安定のため何か方策はないか。
【町長】現在、国においてエネルギー・食料品価格の物価高騰対策として、ガソリン価格抑制策、電気、ガス料金支援策が行われ、また実施検討がされている。

このほか、農業後継者が不足している点や、主品目のブロッコリー・ネギ・梨の生産支援策を質問した。また生産者支援で面積などの要件によって補助制度に参加できないことも指摘した。



物価上昇が止まらない

どの集落にも使い やすい補助制度を

町長 声をもとに
制度を考えていきたい



池田幸恵 議員

【池田】人口減少が進み、約135集落で世帯数の減少が見られ、うち16集落が10世帯以下で構成されている。

集落のコミュニティの中心ともいえる集落公民館のハード面の補助には、増改築費の総額400万円以上で2分の1補助、同様に修繕費は100万円以上で3分の1補助がある。

【町長】「屋根の雨漏りや壁に穴や亀裂ができた。修繕をしたいが補助対象額の100万円まで届かないので断念するしかない」というような内容である。

町独自の補助金なので、使いやすいように補助対象額を下げ、世帯数の少ない集落でも取り組みやすくなるように検討しないか。

【池田】あっても使えない補助金だと意味がない。

【町長】集落や自治会の皆さんからの声をもとに制度などを考えていきたい。

【町長】年間6〜7件程度ある。



小さな修繕にも対応を

【島田】空き家バンクと連携してお試し住宅の整備は。

【町長】令和元年の調査結果によると施設の利用者が移住へつながらなく、維持管理コストの負担が大きいので、お試し住宅の予定はしていない。

このほか、聴覚障がいのある人への文字情報対応の戸別受信機導入の質問をした。

物価高騰の影響によつて戸別受信機の価格が上がっており、導入を考えていないという答弁であった。

町長 効果が低いので
予定していない



島田一恵 議員

どの分野の産業に 重点をおくのか

町長 観光と福祉を軸に
産業連携の強化を



近藤隆博 議員

【近藤】本町は、一次から六次産業のバランスや新たな分野の育成が課題だ。今後、どの分野に重点を置き、産業構造を再構築するか。

【町長】就業人口・総生産の構成をふまえ、農業・漁業の高付加価値化、観光・福祉分野の深化が重要だ。各産業の分野間連携や新産業創出を推進したい。

【近藤】産業の担い手不足が深刻だ。どう人材確保を進めるか。

【町長】親元就農や地域おこし協力隊などを活用し、段階的に担い手確保を進める。

【近藤】DXスマート技術導入に関し、漁業分野への支援はあるか。



事業の悩みは商工会へ

【町長】返礼品として登録支援が可能である。

【町長】漁業も設備導入支援やDX化に取り組んでおり、今後も個別支援を検討する。

【近藤】芸術や伝統芸能活動家への支援策は。ふるさと納税活用も含めて検討しないか。

【町長】地域特有の体験づくりを核とし、DMOと連携して進める。

【西本】賢く縮む（スマートシユリンク）という考え方は行政としてどう考えるか。

【町長】必要であることには投資をし、不要なものは縮めていくことが必要である。

【西本】財源・人材・時間に限りある中で特に財源は大丈夫か。

【町長】財政4指標にもとづいて健全である。

【西本】4指標だけでは、はかれないものもあるようだ。危険ではないが、注意して運営していくべきである。

町長が所信表明で示したサマリーレビューはどのように進めていく予定か。



町運営で求められる取捨選択

賢く縮小し 未来を創る考えは

町長 不要なものは
縮めていくことが必要だ



西本憲人 議員

【町長】詳細などはこれから詰めていく。

【西本】戦略的に縮小、選択的な投資によつて人口が減っても生き残っている町にしていけないか。

【町長】持続可能な行政運営をめざしていく。

そのほか、令和6年度から内容変更して始まった「通いの場」事業について質問した。利用団体からの声で補助事業が使いにくいと代弁した。各種要望については検討や協議するとの答弁であった。



空き家をお試し住宅へ

戦後80年

「平和」の取り組みを

町長 町単独の取り組みは考えていない



おさかまさひろ 町長

【大森】 今年は戦後、被爆80年の節目の年である。戦争体験の風化が懸念されている。町主催で平和の取り組みを行う予定はあるか。

【町長】 考えていない。

【大森】 例えば、公民館で「原爆展」を、町文化祭で「大山町であった戦争の歴史展示」を取り組まないか。

【町長】 公民館ロビーの場所貸しはする。展示したい人があれば、展示の手伝い、周知をすることは可能である。

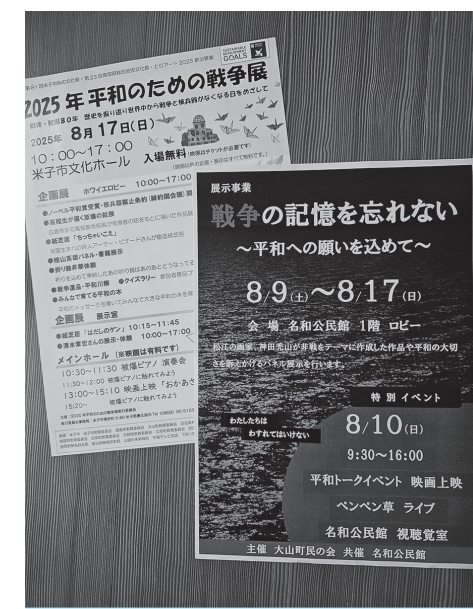
【教育長】 戦後80年で平和を考えることは貴重だが、教育委員会として資料を所有していないため、町文化祭で戦争の歴史展示はむずかしい。

【大森】 町内外で民間団体が平和の取り組みを行う場合、町として支援する考えはあるか。

【町長】 後援依頼や要請があれば、検討し対応したい。

そのほか、物価高対策、文化財の保護と活用について質問した。

前者では、上・下水道料金の引き下げは考えていない、後者では、指定文化財のみ整備を行っている、との回答だった。



町内外で平和の取り組みが

投票率向上の取り組みは

選挙管理委員長 若年層向けの取り組みも始めた



かとうのりゆき 加藤紀之 議員

【加藤】 選挙における投票率の低下は全国的な傾向だが、少しでも投票率を向上させるため選挙管理委員会ではどのように取り組むか。

また、主権者教育の取り組みはどうか。

【選挙委員長】 これまでの広報活動に加え、若年層向けの広報活動として、令和6年度からは県選管と連携し高等学校への出前講座にも取り組んでいる。

【教育長】 主に社会科にて、まちの移り変わりを調べたりしながら、政治がどのように関わっているかを知る例などがある。

【加藤】 コンビニやドラッグストアの駐車場など、公設掲示板の設置場所にも工夫を。

【選挙委員長】 有権者の目に届く場所に、というのは指摘の通りだと思う。設置場所の変更も含め、考えていきたい。

ほかに、持続可能な第一次産業（漁業）について質問し、漁業者の声を広く聞き取り、生産基盤の維持や資源管理、担い手を確保するための所得向上に取り組む、との答弁があった。



目立つ場所に設置すべき掲示板

ラーケーションの取り組みを

教育長 メリットとデメリットを考えた



きんしただいち 近藤大介 議員

【近藤】 ラーケーションとはラーニング（学習）とバケーション（休日）を組み合わせた造語で、児童生徒が、家族と校外学習に取り組む場合に、平日に学校を休んでも欠席扱いにしない制度である。

家庭の教育力向上も期待でき、近年、全国の自治体に広がってきている。本町の小中学校でも制度を導入してはどうか。

【教育長】 メリット、デメリットを鑑み、考えていきたい。

【近藤】 本町には体験活動や学びの素材が豊富にある。大山観光局が中心となって、ラーケーションの受け皿となる商品造成を行い、県内外から本町への誘客をはかつてはどうか。

【町長】 ラーケーションが誘客の有効な手段と判断された場合は、積極的な取り組みも考えられる。

このほか、農業の担い手不足対策として、ドローン活用など農業DXの推進について質問した。

普及所や農協とも連携した推進体制の整備を求め、前向きに取り組む答弁をえた。



親子の学びを大切に

オーガニックビレッジ宣言の検討は

町長 取り組みたい事業者がいれば検討する



おさかまさひろ 町長

【豊】 オーガニックビレッジ宣言は年額1000万円の補助が出る。実証実験やアドバイザリー、出口戦略としてオーガニック給食にも使えるが検討は。

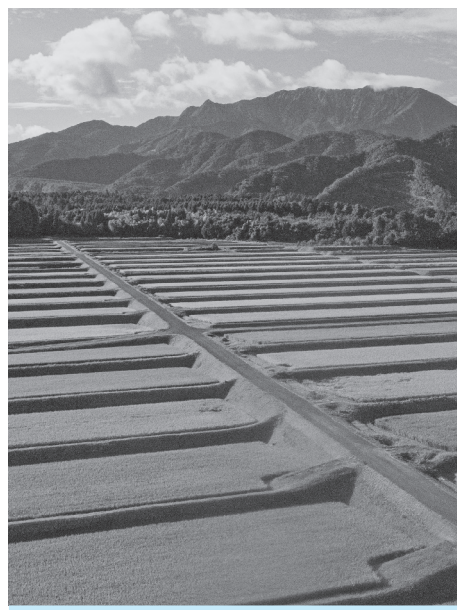
【町長】 アンケート結果からはむずかしいが、取り組みたい事業者がいれば検討する。

【豊】 オーガニック給食にすることで、食残しが減り、有機栽培の出口戦略にもつながる。また給食を変えることで、いじめや非行が減ったという事例もある。月に1日からなど段階的にでも検討することだったか、進ちょくはどうか。

【教育長】 まとまった食材の確保がむずかしいため進んでいない。地産地消を高めることを主眼に勧めてきたが、安全な食材という観点で、オーガニック食材も基準の一つとして取り組んでいきたい。

このほか、特に所子地区における道路整備や町営住宅の公園などを活用した、中長期のまちづくりを提言した。

また新規住宅地開発のボトルネックになっている排水問題についてたまたした。



化学肥料に頼らない選択肢

フレイル予防のさらなる充実を

町長 住民に届く支援を実現したい



あさだりゅうたろう 浅田龍太郎 議員

【浅田】フレイル予防が必要な高齢者の把握と支援の現状は。

【町長】基本チェックリストによる評価を実施し、心身の機能低下の兆候を早期に把握して支援につなげている。

参加していない人へのアプローチも今後の課題としてとらえている。

【浅田】参加していない人に支援を広げていくための取り組みは。

【町長】生活状況などから選定した人への訪問や、民間の事業者と連携しフレイル予防を意識した弁当の開発などに取り組んでいる。今後も複合的な要素を意



誰もが取り組みやすい支援を

識しながら、高齢者の健康づくりに資する取り組みを行いたい。

【浅田】医療・介護の情報連携や中山間地域でのサービス格差、縦割り行政による相談窓口の複雑さといった課題への対応は。

【町長】情報連携は個人

町民の声は聞こえたか

町長 各方面の声に留意したい



のぐちとしあき 野口俊明 議員

【野口】プラスに聞こえた声は。

【町長】子育て支援の充実など、住みやすいまちづくりを進めてきたこと、海から山まで優れた資源がある町の潜在力の活用、アウトドアライフ構想で、DMO創設をめざして進んでいることなどの、施策の評価をえたと考えている。

【野口】マイナスに聞こえた声は。

【町長】積極的なスピード感をもつて進めていることへの不安や、高齢者への配慮が不十分では、住民の声に耳を傾けていないのでは、と



新たな気持ちで執務に

相違点については、各方面の声に耳を傾け町政運営を進める中で十分に留意していきたいと考えている。

水田の防虫

防草対策は



町長 農家の自主防除に任せる



おおはらひろみ 大原広巳 議員

【大原】令和7年も酷暑が予想される。カメムシ対応は十分か。

【町長】県の支援がなく、町も農家の自主防除に任せるとした。

【大原】ドローンの活用で、防虫・防草（稗）対策を推進すべきでは。

【町長】町内の防除体制が整ってきたが、今後は普及周知を行う。

【大原】夏場の白ネギやブロッコリーの植付に、灌水施設導入助成は30件で十分か。

【町長】予想以上の希望があり、令和8年度も県と交渉する。



除草対策にもドローン活用を

補助率を下げてでも再度取り組まないか。

【町長】過去の同様の国などの財源があれば改めて検討する。

【大原】クレーン付作業の普及の考えは。

【町長】消耗品への補助は、むずかしい。

広報だいせん

簡素化のメリットは



町長 コスト削減効果を見込んでいる



こばやしなおや 小林直哉 議員

【小林】簡素化は財政上仕方ない。しかし情報の充実も重要であるので、コストをかけずに町民に情報を伝える手段を考える必要がある。

LINEなどを活用し登録者への紙媒体の配布を減らせないか。

【町長】登録者の個人情報までは把握ができない。HP内の町報へのアクセスはある程度読めるので、今後の紙媒体を電子媒体に変えていく作業では、参考にしながら進めてみたい。

【小林】プッシュ型媒体であるLINEの登録者数が増えれば、町民アンケートを集める際



隔月で簡素化する広報だいせん

このほか、町内事業者空き家の社宅利用など活用促進するため、既存補助の対象を拡充できないかという質問に、現状空き家バンクの登録不足のため、活用促進より登録促進を優先するとの返答をえた。

議員討論会ダイジェスト

これからの 大山町を どうするか

議長

第2部ではテーマを3つに絞って討論していきます。

持続可能なまちづくり



既存の事業の見直しや廃止も検討しつつ、スマートシュリンクを実行していき、小さい規模でも自分たちが地域自治を行っていければ、生き残っていけるのではないかと。



これからの本町を見据えてのインフラ整備、公共施設を選択的集中させていくにはどうしたらよいのか。多面的な意見を聞きたい。



町民の意見も含めて、皆が納得して進めていくことが、課題である。

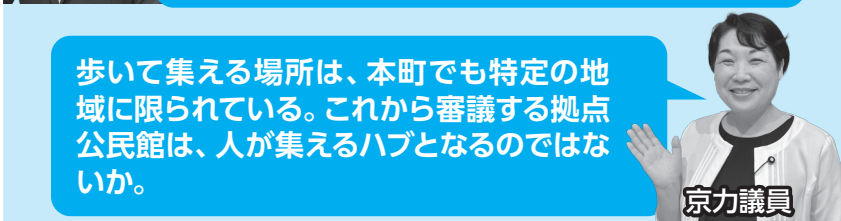


本町の人口が減るのが問題ではなく、インフラの維持、地域の担い手が不足していくことが問題で、それを時代に合った課題解決していくべきではないか。

異世代コミュニティの構築



車中心の生活だと、人との交流につながらない。ウォークアブルシティの構想にもとづいて、ただ建物を作るだけでなく、そこに付随した地域団体と交流しながら、人と人をつなげていく仕組みづくりが必要である。



歩いて集える場所は、本町でも特定の地域に限られている。これから審議する拠点公民館は、人が集えるハブとなるのではないかと。

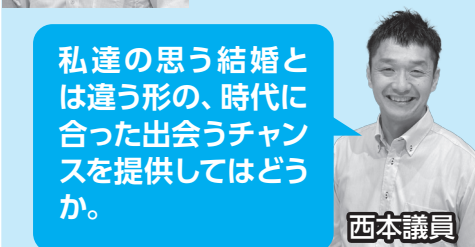


具体的な提案として、雨の日でも遊んだりマルシェができる場所など求められている。東広島道の駅やキナルなんぶなど異世代が自然と集える場所づくりに取り組んでほしい。

婚活支援について



将来的な長い目で見た、戦略を立てていくことは重要である。



私達の思う結婚とは違う形の、時代に合った出会うチャンスを提供してはどうか。



おせっかい人や仲人さんなどの婚活を支援する制度も、きっかけづくりとして良いのでは。

議長まとめ



議員の意見は全部大事な問題です。しっかり討議し、町民との対話の中で進めていき政策提言していきたい。



詳細はYouTube動画でご覧いただけます。左記のQRコードから動画にアクセスしてください。

トピックス 「白いか釣り」 例年、6月初旬頃から9月下旬頃まで、白いか釣りが盛んです。近年では、県全域で遊漁船が人気となり、特に御来屋港、逢坂港では予約がとりにくくなるほど、県内外の釣り人に大人気である。

〈第1部〉

多面的(多角的)な取り組み

人口減少はすべての事柄、事業などに影響を及ぼす。必要な取り組みは一つではない。



高齢者が活躍できる場づくり

高齢化が進む中、地域の担い手として活躍できる仕組みづくりを整えることで独居対策や地域経済への貢献を。



地域住民のつながり

人口減少が進む中、地域を残す・地域に残るためにできることは何なのか。行政の力だけでなく住民同士のつながりが大切だ。



持続可能なまちづくり

インフラや施設の老朽化に長期的な計画で対応していく必要がある。既存の事業について見直し・廃止も考えていく必要がある。



「選択的発展」×「戦略的縮小」

人口減少という現実を受け止めつつ、地域資源を生かした未来志向のまちづくりで、「守り」と「攻め」を両立させることが必要と考える持続可能で希望のある地方創生の道が必要だ。



自治会の存続強化を

集落の伝統行事などに、行政が少しでも助成できないか。世代間交流がなくなれば、村のさまざまな課題解決に取り組むことができない。



婚活支援

少子化の要因の一つには婚姻数の減少がある。本町は、婚活支援が足りていない。



消滅する我が町か

人口推計でいくと20年後には8000人台になる。インフラの整備や新たな公民館の建設などをふまえて取り組まなければ。



吉原議長

テーマは『これからの大山町をどうするか』です。第1部は将来に向け、特に必要な取り組みを各議員にボードに書いて発表していただきます。



※各議員の発言の要旨をまとめたものです。

ゆるやかな町の縮小

人口減少を見据えて、地域の特性を掘り下げた賢い縮小の成長戦略が必要である。



仕事生まれる町

1次産業から5次産業までを町内で循環させ、新たな雇用や仕事を生み出し、人口流入・税収増・町のサービス向上へとつなげていく。



小中連携してのキャリア教育

小中連携してのキャリア教育が必要だ。未来への投資をして帰りたいまちづくりとして、Uターン支援や町独自の奨学金の助成の上乗せを。



住む場所をつくる

現在、本町は賃貸住宅も中古住宅も新築を建てる宅地もすべてが足りていない。夢を持てる大山町のビジョンで住む場所づくりを。



住民参画

人口減少が進む中、一人でも多くの住民に本町の今の課題、将来の課題に関心を持っていただき、議会としてできる住民参画を考え進めていく必要がある。



異世代コミュニティの構築

コミュニティエリアの創出から、まちづくりや仕事、人のつながりなど形成基盤を生み出していく。



町内での人口の偏在是正

所子地区に新しい住宅地が集積した結果、人口(とりわけ若年層の人口)の偏在が町全体でも、また、大山地区内でも生じている。これを是正する方策を考えたい。



トピックス 「緑地蔵」 旅の安全の守り仏としても信仰されるなど、地蔵信仰のある大山寺。大山古道には、33のお地蔵さんがいます。大山寺では緑地蔵作りワークショップが開催されています。問い合わせ:大山ツアーデスク0859-48-6123

議会中継をインターネットで!!



ケーブルテレビ大山チャンネルで放送中の議会中継はYouTube にてインターネットでもご覧いただけます。



大山町議会

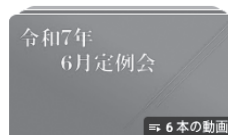
@大山町議会・チャンネル登録者数 207人・254本の動画

このチャンネルの詳細...さらに表示

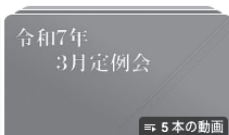
チャンネル登録

ホーム 動画 ライブ 再生リスト

作成した再生リスト



令和7年6月定例会
更新: 5日前
再生リストの全体を見る



令和7年3月定例会
再生リストの全体を見る



令和7年臨時会
再生リストの全体を見る



YouTube 大山町議会

改選後6月定例会の議会中継は再生回数異例の約7000回!!

先日行われました6月定例会の再生回数は、みなさんの関心が高く、1日目が約4000回再生、2日目が約3000回再生と通常数100回再生の中、10倍以上の反響を生んでおります。

ぜひチャンネル登録とベルマーク🔔をチェックしてください。

研修にイベントに大忙し

新人議員に密着!!



京力議員 小林議員 近藤議員 浅田議員



近藤隆博議員

目まぐるしい日々でしたが、大変充実していました。紙面で見ることのできない背景がわかるようになりました。

2025年

4月13日 投開票日

4月14日 当選証書授与

4月17日 新人議員説明会

4月25日 議員懇談会

5月1日 臨時会

議会人事(議長・議会運営委員長など決定)
主な議案:ハワイ短期英語留学

5月14日 新議員研修会(湯梨浜町 水明荘)

5月22日 臨時会

主な議案:スキー場調査委託料など

6月3日~20日 6月定例会

主な議案:アウトドアライフ官民連携事業など

6月7日 韓国訪問団歓迎会

夏山開き祭神事

トピックス 「ハワイとの交流」 令和6年に始まったハワイの語学研修ですが、実はきっかけは民間の交流プロジェクトが最初でした。御来屋のアート、少年野球チームの交流試合を通して、今の語学研修につながっている。

「議会だより81号」ができるまで

年4回の定例会ごとに発行している議会だよりは、議員が自ら取材し、原稿を書き作成しています。議会に出席するだけではない議員の仕事の裏側を紹介します。



大山 トリビア

委員長のコメント
少しでも議会を身近に感じていただけるように、写真や構成など毎号工夫をこらしています。みなさんの声もなるべく多く反映できるように、インタビュしています。ご協力お願いします。

広報誌作成の苦労話
町民にできるだけわかりやすく見ただけのために、表現方法や言葉づかいなど細かく確認しています。議会議論された内容と異ならないよう、議事録を読み込んで確認作業をしています。文章校正時に、意見が分かれて時間がかかってしまうこともあります。

「大山夏の楽しみ(川遊び)」 大山のブナ林は緑のダムと呼ばれており、私たちに豊かな水を与えてくれます。きれいで冷たい水が流れる安全な川で水遊びや川の生き物観察がおすすめの夏の楽しみ方です。(情報提供:鷺見教育長)

「ちょっと」運動しませんか？

65歳から始める健康づくり

新たな介護予防・日常生活支援総合事業として、町内3カ所の介護保険事業所で健康づくり・運動習慣づくりを目的とした運動教室を開催しています。「いつまでも家での生活を続けたい」「元氣な身体を手に入れたい」といった生活を実現するには元氣な身体が必要です。ぜひ参加してみたいかがでしょうか。

【対象】町内在住の65歳以上の人
【参加費】1回200円
【持ち物】飲み物、タオルなど
この事業に関するお問い合わせは
大山町長寿支援課(0859-545207)まで

はまなすクラブ

上半身から下半身まで満遍なく、ほんのり汗をかくような運動を実施しています。セラバンドを使って自分に合った強度の運動ができます。運動したい人や運動不足が気になる人、きっかけがほしい人、ぜひ来ていただきたいです。



場所／介護老人保健施設
はまなす(田中1383)
時間／毎週月曜日16:00～
電話／0858-58-6161



いかつじえ日ノ出倶楽部

ストレッチや棒体操を中心に、楽しく身体を動かすことを目的とした運動教室です。関節の痛みを緩和する体操や、日常生活上のアドバイスも行っています。運動しながらのお喋りや情報交換など皆さんの交流の場にもなっています。



場所／介護老人保健施設
サンライズ名和
(富長750-3)
時間／毎週金曜日14:00～
電話／0859-54-3232



ワイワイ体操

みんなでワイワイ楽しく運動できる教室です。リズム体操やストレッチポール、週替わりでさまざまな運動を実施し、「飽きの来ない続けられる教室」をめざしています。運動不足やストレス解消など、一緒に楽しく運動しましょう。お茶会も開催しています。



場所／大山やすらぎの里
(唐王208)
時間／毎週月曜日 10:40～
電話／0859-39-5555



あとがき

改選後初の定例会では、議長を除く全議員が「一般質問」に登壇しました。その一方、「討論」で議案に対し意見を表明した議員はごく少数名にとどまりました。

議員の参考書たる議員必携には「討論は審議の中心ともいえる発言」と記載され、ひとたび「討論」が始まれば、議長といえども発言を制止することが許されません。議員個人に認められた少ない権利としては、ある意味神聖不可侵なものです。「討論」という議員間での討議に、より多くの関心が注がれることを願っています。(加藤)

発行責任者

議長 吉原美智恵

広報常任委員会

委員長 豊 哲也

副委員長 浅田龍太郎

委員 池田 幸恵

委員 加藤 紀之

委員 西本 憲人

委員 京力 久子

委員 近藤 隆博

委員 小林 直哉



議会だより だいせん
Public relations magazine of Daisen town council

2025. 7 NO.81

発行/大山町議会 編集/広報常任委員会
〒689-3211 鳥取県西伯郡大山町御来屋328
☎ 0859-54-5213 FAX 0859-54-5214
Mail: gkai@town.daisen.lg.jp

議会だよりのご感想をお寄せください